

【立川総合病院 周術期に休薬が必要な抗がん剤(分子標的治療薬)及び類似薬】

※ここに挙げた薬剤は、血管新生阻害作用による創傷治癒遅延や、出血の可能性があるため、周術期には休薬が必要です。

分類	一般名	商品名(青字は当院採用)	休薬期間
抗がん剤	ベバシズマブ	アバスチン点滴静注用 ベバシズマブBS点滴静注	医師の指示通り
	イブルチニブ	イムブルビカカプセル	
	アキシチニブ	インライタ錠	
	パゾパニブ塩酸塩	ヴォトリエント錠	
	パンデタニブ	カプレルサ錠	
	カボザンチニブリンゴ酸塩	カボメティクス錠	
	アカラブルチニブ	カルケンス錠、カプセル	
	ラムシルマブ	サイラムザ点滴静注液	
	アフリベルセプトベータ	ザルトラップ点滴静注	
	サリドマイド	サレドカプセル	
	ピルトブルチニブ	ジャイパーク錠	
	スニチニブリンゴ酸塩	ステントカプセル スニチニブ錠	
	レゴラフェニブ水和物	スチバーガ錠	
	テムシロリムス	トーリセル点滴静注液	
	ソラフェニブトシリ酸塩	ネクサバール錠	
	フルキンチニブ	フリュザクラカプセル	
	ザヌブルチニブ	ブルキンザカプセル	
	チラブルチニブ塩酸塩	ペレキシブル錠	
	シロリムス	ラパリムス錠、顆粒	
	レンバチニブメシル酸塩	レンビマカプセル	
特発性肺線維症・間質性肺疾患治療薬	ニンテダニブエタンスルホン酸塩	オフェブカプセル	

参考資料:添付文書、インタビューフォーム、適正使用ガイド

術前休薬検討小委員会 2025年9月16日 改訂(ver.5)

【立川総合病院 周術期に休薬が必要な糖尿病薬】

※SGLT2阻害薬はケトアシドーシスの恐れ、ビグアナイド薬は乳酸アシドーシスの恐れがあるため、周術期には休薬が必要です。

※インスリンを除く糖尿病薬は、添付文書上手術前後の患者への投与が禁忌であるため、この一覧以外の糖尿病薬も当日から休薬が必要です。

※術後、食事が十分摂れるようになってから再開を検討してください。

分類	一般名	商品名(青字は当院採用)	休薬期間の目安(手術当日を含まない)
SGLT2阻害薬	イプラグリフロジン L-プロリン	スーグラ錠	3日 (糖尿病を合併しない心不全患者は手術当日から中止) ※SGLT2阻害薬の適正使用に関するレcommendationに準じた
	トホグリフロジン水和物	デベルザ錠	
	ダパグリフロジンプロピレンギコール水和物	フォシガ錠	
	ルセオグリフロジン水和物	ルセフィ錠、ODフィルム	
	カナグリフロジン水和物	カナグル錠、OD錠	
	エンパグリフロジン	ジャディアンス錠	
SGLT2阻害薬 + DPP-4阻害薬	イフラグリフロジン L-プロリン・シタグリプチニン酸塩水和物配合剤	スージャヌ配合錠	※添付文書の記載、半減期等を考慮した
	カナグリフロジン水和物・テネリグリブチニン乳化水素酸塩水和物配合剤	カナリア配合錠	
	エンパグリフロジン・リナグリブチニン配合剤	トラディアンス配合錠	
ビグアナイド薬	メトホルミン塩酸塩	メグルコ錠	術前2日～術後2日
		グリコラン錠	
		メトホルミン塩酸塩錠	
ビグアナイド薬 + DPP-4阻害薬	メトホルミン塩酸塩・ビルダグリブチニン配合剤	エクメット配合錠	
	メトホルミン塩酸塩・アログリブチニン安息香酸塩配合剤	メホビル配合錠	
	メトホルミン塩酸塩・アナグリブチニン配合剤	イニシンク配合錠	
ビグアナイド薬 + チアゾリジン薬	メトホルミン塩酸塩・ピオグリタゾン塩酸塩配合剤	メトアナ配合錠 メタクト配合錠	

参考資料:添付文書、糖尿病治療におけるSGLT2阻害薬の適正使用に関するレcommendation(日本糖尿病学会 2020)、CKD治療におけるSGLT2阻害薬の適正使用に関するレcommendation(日本腎臓学会 2022)、心不全治療におけるSGLT2阻害薬の適正使用に関するレcommendation(日本循環器学会・日本心不全学会 2023)

※T-Macs上でのPDF版では薬剤名の検索が可能です。

術前休薬検討小委員会 2025年9月16日 改訂(ver.5)